

# 通 学 合 宿



水小っ子チャレンジスクール



九町っ子体験スクール



生涯学習だより

ふれあい

# いかいた

毎月第2日曜日は「家庭の日」です。

8月のテーマ“体をきたえよう  
先祖をうやまおう”

(実践方法)

- 家族そろって野外活動を行い体をきたえよう。
- 朝夕、先祖への拝礼を行い先祖について話しあおう。

平成20年  
8月1日発行

No.40

# 8月号

## 水小つ子チャレンジスクール（水ヶ浦小）

7月6日(日)～7月10日(木)  
大浜集会所



洗濯



買い物



調理



肝だめし

## 九町つ子体験スクール（九町小）

7月7日(月)～7月11日(金)  
町見公民館



通学



調理



食事



ふれあいタイム

4泊5日の  
通学合宿

この通学合宿は、異なる学年の子どもたちが、地域の公民館や集会所に宿泊し、親元を離れ、団体生活の中で日々の社会性、自主性、協調性を伸ばし「生きる力」を育むことを目的に実施しております。

今年度は、「水小つ子チャレンジスクール」に12名、「九町つ子体験スクール」には14名の児童が参加して4泊5日の通学合宿が行われました。

参加した児童は、炊事、洗濯、掃除、買い物と今までに体験したことの少ない作業にに戸惑つていましたが、日々が経つごとに役割分担をこなし、団体生活にも慣れて行きました。

通学合宿を終えた子どもたちからは、「食事の時みんなで協力してできた。」「不便なことやつらい時我慢することができない」といった感想が漂い、少し大人に近づいた



「体験スクール」では14名の児童が参加して4泊5日の通学合宿が行われました。

掃除、買い物と今までに体験したことの少ない作業に戸惑つっていましたが、日々が経つごとに役割分担をこなし、団体生活にも慣れて行きました。

「お母さんやお父さんが、これから的生活に生きられる」ということを期待しています。

最後に、「この事業にご協力いただきました。」「お母さんやお父さんが、これから的生活に生きられる」ということを期待しています。

この通学合宿を通して、家族や仲間の大切さやありがたさを実感してくれたものと思っています。

閉校式では、一人ひとりの顔にみんなで協力してひとつのことを作り上げたという達成感が漂い、少し大人に近づいた

ところです。

# 第4回瀬戸スポーツフェスティバル

7月13日(日)瀬戸つどいの里(瀬戸総合体育館・瀬戸球場・瀬戸中グラウンド)にて恒例の第4回瀬戸スポーツフェスティバルを開催しました。今年度は4種目(ドッジボール・インディビューチーを実施し、こどもから高齢者まで、およそ300人の参加者がさわやかな汗を流し交流を深めていきました。

結果は次のとおりです。

## ●ドッジボール(小学生)

優勝 塩成スポーツ少年団(塩成小)

準優勝 わさびーず(三机小)

3位 大久スタートーズ(大久小)

## ●インディアカ(一般)

男子の部	女子の部
優勝 たぬり企画(川之浜)	優勝 川之浜C
準優勝 川之浜B	準優勝 足成A
3位 大江A	3位 大江B

## ●ペタンク(高齢者)

混合の部	ペタンク(高齢者)
優勝 マカラーン(三机)	優勝 メタB〇〇一(川之浜)
準優勝 太谷さん(三机)	準優勝 ちりめんバスターズ(川之浜)
3位 大江	3位 神崎千歳会
3位 準優勝 大久日の出	3位 大江B
3位 準優勝 神崎千歳会	3位 神崎千歳会

## ●輪投げ(高齢者)

ペタンク(高齢者)	輪投げ(高齢者)
優勝 大江A	優勝 大江A
準優勝 神崎千歳会	準優勝 神崎千歳会
3位 川之浜	3位 川之浜

参加されたチームの皆様、お疲れ様でした。また、運営にご協力してくださった皆様ありがとうございました。これからも生涯スポーツをとおして、健康と地域の輪をつくっていきましょう。



ドッジボール



インディアカ



ペタンク



輪投げ



ドッヂビー



開会式



選手宣誓



ナイスショット!

# 伊方町スポーツ少年団 交流大会開催

大会当日は和やかな交流の一環ながら、子ども達の元気な笑顔とハツラツとしたプレーは、さわやかな佐田岬の風を呼びました。

この大会は、町内のスポーツ少年団交流大会が開催されました。ソフトボールとミニバスケットボールの2種目を予定していましたが、ソフトボールについては雨天のためグラウンド状態が悪く、残念ながら中止となり、ミニバスケットボールのみの実施となりました。

この大会は、町内のスポーツ少年団交流大会が開催されました。ソフトボールとミニバスケットボールの2種目を予定していましたが、ソフトボールについては雨天のためグラウンド状態が悪く、残念ながら中止となり、ミニバスケットボールのみの実施となりました。

公  
民  
館  
だ  
よ  
り

## 「第一回 青年学級開催！」

中央公民館



6月27日(金)中央公民館にて第一回青年学級が開催されました。この学級は、これから伊方町を担う青年層が、有意義な生活と人間関係を学ぶために、如何に楽しみ想像し、新たな発見をすることを目的に今年度より開始されました。対象者は伊方町内在住又は勤務する青年男女で構成されており、第一回目の今回は、料理を行い、講習などと併せて、

田の栄養士の指導のもと、ドライカレー、パン・キンサラダ、マーソンスープ、フルーツパフェを作りました。皆さん、普段料理をする方、しない方がいる中、班で協力して調理し、年間行事計画を話し合いながらの試食を楽しみました。青年学級は、年間で四回ほど予定しております。まだ、参加者を募集しておりますので、中央公民館まで連絡をしてください。



第1回目の講座を開催しました。テーマは「近い将来起じうつる南海地震への備え」とし、第1講座として「伊方町における自主防災について」役場総務課危機管理室職員により、自主防災組織の必要性や町の取組状況・今後の取組みについてわかりやすく説明していました。大学生からは身近な問題であるだけに今後の取組みの中で「津波襲来

去る6月11日(水)開校式に合わせて第1回目の講座を開催しました。テーマは「近い将来起じうつる南海地震への備え」とし、第1講座として「伊方町における自主防災について」役場総務課危機管理室職員により、自主防

時に備え海拔表示板などを設置してはどうか」など活発な意見や質問が多く出されました。第2講座では「地震等災害に対する予防及び発災時の対応について」八幡浜消防署第二分署員により、地震時における身の守り方や安全な避難方法についてや家具・電化製品等の頑丈な固定方法などに積極的な社会参加と融和と親睦を深めることを目的とし毎年実施しています。

この講座を機に、自分の大切な命を守るために防災・防火意識を高めると共に平素から地震災害等について考えて「いや」という時の為に備えておきましょう。

「町見老人大学開校」

町見公民館

小学校児童・保護者の方を対象に、瀬戸アグリトピアふれあい交流センターにて、新居浜市おもちゃ図書館きしゃポップボランティアグループの方を招き、移動おもちゃ図書館『きしゃポップ』を開催しました。



「おもちゃ図書館」とこの言葉は、心身に障害があるために、上手に遊べなかつたり人とのかかわりがうまくできない子どもたちが、お母さんや地域の子どもたち、ボランティアとおもちゃで遊びことによつて、生き生きとした時間を過ごせることを願つて始めた活動です。

当団は、ボランティアグループの方が、朝早くから、新居浜市よりたくさんの方を作りおもちゃやバスに載せてやつきました。



わざかな時間でしたが、すっかり手作りおもちゃを完成した様子で、多くの子どもたちとも仲良しく、まだお母さん方も楽しい時間を過ごすことができました。

みなさんも、自分で手作りのおもちゃを作つてみてはいかがでしょうか。きっとおもしろいと楽しく遊べることと思います。

6月14日(土)瀬戸地域の保育児童・小学校児童・保護者の方を対象に、瀬戸アグリトピアふれあい交流センターにて、新居浜市おもちゃ図書館きしゃポップボランティアグループの方を招き、移動おもちゃ図書館『きしゃポップ』を開催しました。

か手触りで遊べるなど工夫されており、かつ丈夫に作つてあります。

参加した子どもたちは、市販のおもちゃとは違つた、今までに見たことのないようなおもちゃに大変興味を持ったようで夢中になつて遊んでいました。また、自分たちで簡単なおもちゃづくりにも挑戦していました。

現在三崎保健センターが、三崎地域の5地区(正野、串、与呂、三崎、二名津)で「ふれあい広場」を開催しています。この事業は、高齢の方々が生き生きとした毎日を送れるように、身近な集いの場を通じて互いに支え合える地域づくりを目指し開催されています。甲に1度地域の集会所等に集い、各地域のお世話役さんのもと健康相談や健康体操また、レクリエーションなどをして楽しく過ごしています。

三崎公民館では、「ふれあい広場」の場をお借りし、人権学習の出前講座「人権ふれ愛教室」を今年度から開催しました。6月18日に正野地区に、7月10日に三崎地区にお邪魔しました。正野地区は11人、三崎地区は13人の参加があり1時間程度時間をいただき、人権に関するカードゲームやビデオ視聴を行いました。

カードゲームでは、2チームに別れ、細切れに

した文書をつなぎ合わせ元の文書を復元するゲームを行いました。皆さん「こうかな、こっちかな」とチームで協力しながら元の文書を楽しく復元していました。そして完成した文章から、無意識に抱いていた思い込みや偏見に気付いていました。

三崎公民館では、現世代から次世代への偏見や差別意識の負の連鎖の解消になればと、高齢者の方々と一緒に楽しく人権学習を行いたいと考えています。今年中に5つの地区を回る計画ですが、他の地区でも皆さんのが集まる会があればお邪魔させていただきたいと思います。お気軽に声を掛けてください。

## 移動おもちゃ図書館 『きしゃポップ』

瀬戸公民館

## 出張「人権ふれ愛教室」スタート

三崎公民館

カードゲームをする正野地区の皆さん



ビデオを視聴する三崎地区の皆さん



## 3人の青年達

三崎中学校



3月からの月末までの4ヶ月間、イギリス、ドイツ、韓国出身の3人の若者が平磯で共同生活をしておりました。その青年達の世話をしていたのが、本校の浅野教諭の弟さんということで、彼らとの交流が始まりました。

最初、遠足から始まってその後、ゲストティーチャーとして、社会・英語・特別支援教育に参加してもらい、本校生徒との交流を深めていきました。子ども達が、国籍を問わず、自然な形で、ふれあうことができるということは、国際性を身に付けるという意味においても、大変意義深いものがあるかと思います。

彼らは、自らの精神性を高めるために、ボランティアとして農作業をしながら、地域の人達との交流を深めていました。3人は、平磯での生活を終えて、それの母国に帰りましたが、彼らとの交流を通して、子ども達は、多様な価値観にふれることができ、とても有意義な交流の体験となりました。

3人は、平磯での生活を終えて、それの母国に帰りましたが、彼らとの交流を通して、子ども達は、多様な価値観にふれることができ、とても有意義な交流の体験となりました。

## 遠足

伊方中学校

本校では、4月と3月に遠足を実施しています。4月の遠足の大きな目的は、新しいクラスメイトとの親睦を深めることと自然に親しおことです。今回は一年の遠足の様子を紹介します。

行き先は、保内の神越公園です。行きは、ウォーカリーをしながら元気ないしさつを交わしながらのウォーカリーリーは、ふるさとの良さを再発見する機会に

班対抗(保護者はわが子のチーム)でゲームを行いました。子どもたちは、普段遊びの中で経験しているので、楽しく、積極的に活動できていました。

当日は、授業参観の後、ペタンク大会を予定していましたが、雨天のため、転がしドッジボール、的当て、輪投げのゲームを行いました。

## いきいきとたくましく生きる 二見つ子を育てる

二見小学校



を通り(6.1km)伊方中に帰りました。

行きは、クイズをしたり、大浜で黒島を眺めながら、俳句もつくりました。また、風景のスケッチもしました。メロディーラインが開通してから、大浜まわりの旧国道を通過することも少なくなってきました。自然に恵まれたふるさとを肌で感じながら、地域の方々に元気ないしさつを交わしながらのウォーカリーリーは、ふるさとの良さを再発見する機会に

なりました。神越公園では、学級対抗のゲームやフォーカダントスを通して新しいクラスメイトとの親睦も十分深めることができました。最後に生徒のつくれた俳句を紹介します。



- 黒島を みんなで見ながら ウォーカリー
- さんさんと 太陽あびて 海光る



# 図書館だより



## 今月の新刊

### ○子ども向け

- かぶと三十郎 きみのために生きるの巻 / 宮西達也 作・絵
- きがきじやない / アントワネット・ボーティス 作、中川ひろたか 訳
- なつのおとずれ / かがくいひろし 作・絵
- 森はオペラ / 姉崎一馬 写真・文
- みずくさむらとみずべらむら / カズコ・G・ストーン さく
- ぼくらのサマーキャンプ / 芝田勝茂 作、永盛綾子 絵
- 菜の子先生はどこへ行く？ / 富安陽子 作、YUJI 画
- トロール・ブラッド 上・下 / キャサリン・ラングリッシュ作  
金原瑞人 訳、杉田七重 訳
- 星空へようこそ / 横山充男 作、えびなみつる 絵
- 10ぴきのかえる はじめてのキャンプ / 間所ひさこ さく、仲川道子 え

ほか



### ○一般向け

- 老癡の雫 / 野村沙知代 著
- 僕たちのミシシッピリバー / 重松清 著
- 傀儡 / 坂東眞砂子 著
- 金色の野辺に唄う / あさのあつこ 著
- 荒野 / 桜庭一樹 著
- 茨の木 / さだまさし 著
- 何も持たずに存在するということ / 角田光代 著
- 義弟 / 永井するみ 著
- 記念日 / 香納諒一 著
- アフガンの男 / フレデリック・フォーサイス 著、篠原慎 訳
- バーデン・バーデンの夏 / レオニード・ツイプキン 著、沼野恭子 訳
- 鐵道心中 / 岩井志麻子 著
- 月とメロン / 丸谷才一 著
- バカ社長論 / 山田咲道 著
- 渋谷容子のきもの・和布ですてきなリフォーム

ほか



## 利用案内

■開館日／火曜日～日曜日

午前9時30分～午後6時

■休館日／毎週月曜日（月曜日が祝日のときはその翌日も）

祝日・月末図書整理日・年末年始（12月29日から1月3日）・蔵書点検日

伊方町立図書館（伊方町生涯学習センター2階）

伊方町湊浦1992番地

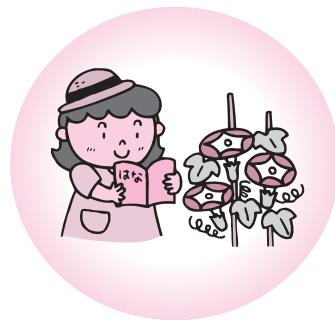
TEL(0894)38-0607 FAX(0894)38-0617

瀬戸町民センター・三崎公民館にて図書の返却のみ可能。

## 8月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

■…休館日



## ピップスおはなし会のごあんない

8月のおはなし会は9日(土)・23日(土)  
の午後2時から30分程度

■対象：未就学児童および親子  
小学校低学年児童

絵本の読み聞かせや紙芝居などをおはな  
しコーナーで行っています。  
みんな、来てね！



## 児遊館より

### ストローの吹き玉を作りましょう！

8月16日(土)午後2時から、ストローの吹き玉を作りましょう！  
参加される方は当日時間までに受付にお越しください。

#### 【お問い合わせ】

伊方町生涯学習センター内 児遊館 38-1020

### 映画上映会のご案内

8月9日(土)児遊館にて映画上映会を行います。  
室内が狭く、人数に限りがありますので早めにお越しください。

**場 所** 児遊館内 集会室



**作 品 名** シンドバッドの冒険

**上映時間** 1回目 10:00~11:10

2回目 15:00~16:10

#### 【お問い合わせ】

伊方町生涯学習センター内 児遊館 38-1020

## ・防スポーツセンターあります



現在、瀬戸地区で筋力アップ教室を行っています。  
お近くの方は是非参加してみませんか？

#### ※8月の予定

小島集会所

8月21日(木) 14時00分～15時00分

志津集会所

8月22日(金) 14時00分～15時00分

#### ※内 容

簡単なストレッチ

お家で出来る筋力トレーニング



#### ※準備物

タオル・上履き・冷たい飲み物

● 詳しいお問い合わせは、下記にご連絡ください。

伊方スポーツセンター ☎ 38-1100、☎ 38-0776

### ライフアップ講座のご案内 (第1回)

心の豊かさや教養を高め、実社会での知識や技術を習得していただくための講座です。

**日 時** 平成20年8月26日(火) 18:30～20:00

**場 所** 伊方町庁舎 3階会議室

**内 容** 開講式・オリエンテーション

#### 呼吸とヨガ

深い呼吸を意識し、簡単なヨガのポーズを通じて自分の体と対話をしましょう。少しずつ、無理をしないで、ゆっくりと。心身共にリフレッシュできます。

**講 師** 好崎 千恵さん

(日本エアロビクスフィットネス協会公認インストラクター)

**定 員** 20名

**受 講 料** 200円(当日、集めます)

**持 参 品** ・水、お茶など

・ヨガマットまたはバスタオル

**申込方法** 8月21日(木)までに住所・氏名・電話番号を生涯学習課へご連絡ください。

伊方町教育委員会生涯学習課

Tel 38-2661 Fax 38-1179

### 伊方町民運動会の開催について

3町の合併から4年目となる本年、町民間の交流促進と町民の一体感の醸成を図ることを目的として、伊方町民運動会を下記のとおり開催いたします。

町内の皆様が運動会を通じ、融和と親睦を深められ、明日の豊かな生活の糧になるよう、意義深いものにしたいと存じますので、皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

■日 時：平成20年9月28日(日)

午前9時00分(開会式)

雨天中止



■会 場：伊方町民グランド

■主 催：伊方町・伊方町教育委員会

【詳しいお問い合わせは下記にご連絡ください】

伊方町教育委員会 生涯学習課：38-2661

瀬戸地域教育課：57-2111

三崎地域教育課：54-1114

## 8月の「佐田岬の自然 スライド上映会」

8月27日(水)

18:30~20:30

持ち込み写真、質問・  
自慢話歓迎

**入館無料** お気軽に!

### ◆今月のきょうどかん◆

2008年 8月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

■=おやすみ □=夜スライド上映  
休館日は都合により、変更する場合があります。

休館時間	TEL・FAX
(不在の場合)	
38-2661	39-0241
月ほか	生涯学習課
30	
16	
30	

## 「伊方の石造物調査報告書Ⅱ」 発刊します!



町見郷土館から

三崎・瀬戸地域の五輪塔などの石造物93ヶ所974点を調査した報告書が出ました。じつは古い歴史を持っているかもしれない佐田岬半島の横顔が見えてきます。

A4版・134頁・定価300円(郵送希望の方は、本代の定額小為替と、送料分の切手を町見郷土館までお送りください(1冊重さ330g))



### この花の名は

佐田岬民俗ノート 39

先日あるので、この八幡浜・西宇和郡地域の皆さん数人に、一度にお尋ねする機会が持てました。「この花、あなたの地域ではなんと呼びますか?」:「何でもないような質問ですが、各地域の個性を垣間見ることができました。

例え①コオニユリ(小鬼百合・ユリ科)。この葉の付け根に黒いムカゴがあればオニユリと種名が変わるそうですが、民俗社会ではそこまで厳密に区別はしないでしょ。これを三崎・大久・小島・大江・保内・日土・双岩・三瓶などで、

ゴーロ・ゴーロー・ゴロ、湊浦・九町・豊之浦・塩成などではカンソウ・カンソウ・カンコバナなどと呼んでいました。八西地域でゴーロ地帯とカンコ地帯に大別できるかもしれません。続いて可愛い花の②ホタルブクロ(巻袋・キキョウ科)。

コップノハナ(三崎)コップ(大江)シロホツコ(小島)カツボ(塩成・伊方・町見)コッペやカツボ:似た語感です。カラスウリの実をラスコッペと呼ぶ例(鳥津など)もあり、何か元の語源があるのかもしれません。

③はヒメヒオウギズイセ(姫檜扇水仙・アヤメ科)。明治中期に日本に入った新植物で、園芸品種名モントブレチア。しかし各地で野生化もしており、今の時期よく咲いてますよね。ほかにもさまざまな植物や動物等の名前があるかもしれません。些細なことでもよいので、町見郷土館(TEL三九一〇二四一)まで情報を受けたら幸いです。野山の草花を大切に守ろうという気持ちと一緒に、こうした地域固有の言葉も、後世に伝えていきたいのです。



## 四国地区人権教育研究大会に参加して



三崎小学校 清重春夫

梅雨空の高知市で、第55回四国地区人権教育研究大会が開催され、伊方町からは、それぞれの立場で参加された27名が研修を深めました。

これまで「四国はひとつ」の合い言葉のもと、同和教育をはじめ様々な人権問題の解決をめざし、研究と実践により着実な成果をあげてきました。しかしながら、今なお人権侵害が後を絶たず、さらに新しい人権問題も生じています。

本研究大会は、これまでの同和教育の成果と手法を大切にしながら、「すべての人の人権確立に向け、差別の現実から深く学ぶ実践をとおして、人権文化の構築をめざす教育をどのように創造していくか。」を研究主題として、今後の人権教育の在り方と様々な人権問題を解決する実践の道筋を明らかにすることを目的としています。

基調提案では、①人権の確立をめざす教育の創造 ②自主活動の推進 ③進路保障 ④人権確立をめざす地域の教育力の充実 ⑤「大学」における人権教育 ⑥特別部会について、就学前教育、学校教育、社会教育にかかる6つの分科会での検討課題等が述べられました。

アトラクションでは、朝倉三町子ども会の和太鼓演奏があり、「人の心の温かさと、差別のない平和な世界をつくりたい」との思いのこもった力強く、心の通った演奏であり、温かい拍手が会場を包んでいました。

特別部会では、「人権教育の更なる充実への方策」と題して講演がありました。人権教育は、人権に関する知的理解と人権感覚の涵養を基盤として、意識、態度、実践的な行動力などの様々な資質や能力の育成についての講演でした。

分科会「人権確立をめざす教育の創造」では、高知市立南海中学より「それぞれの輝き、～2006よさこいの取り組みより～」の報告がありました。生徒、教師が、喜びや苦しみ、悩みを共有し、一つのことを成し遂げた達成感や大きく成長した姿が熱く語られ感動を覚えました。

同和教育の実践は、基本的人権の尊重を具現化した取り組みであることを再確認する大会でもありました。今回、研修したことを、今後の活動に生かしていきたいと思います。

三机保育所 阿部 康子

6月19・20日に第55回四国地区人権教育研究大会が高知で開催されました。

まず1日目は開会行事・全体会で、基調報告があり本大会の方向性が示されました。

そして、朝倉三町子ども会の小中学生20名の子ども会の堂々とした活動報告と見事な太鼓演奏に感動し、心が豊かになったような気がしました。

分科会は就学前教育部会に参加しました。「人権確立をめざす教育をどのように創造しているか」というテーマで、3人の報告をもとに協議しました。どの報告も、保育現場でのつぶやきや、遊びの中での気になる言動に視点を当て、子ども達と一緒に考えたり、話し合うことで、相手の気持ちに気づいたり、思いやりの心が育ってきているという実践発表がありました。

何気ない子どもの言動は、周りの大人の言動そのもので、「教えないのに伝わっている。」つまり、大人の人権感覚がそのまま子どもに反映するということです。私たち大人がしっかりした人権感覚を身につける事が大切であるという事を再確認しました。

また、気になる子どもの生活背景を見ると、父親は忙しく育児参加が難しく、母親は子どもにどう接して、どう遊んでいいかわからないという家庭が多いようです。保育所や幼稚園での様子を知らせ、成長と共に喜び合うことで、子育てが楽しいと思えるようになって欲しいし、保護者も共に育っていくための支援が必要になってきています。

2日目の発表では質疑応答が活発に交わされました。発表者の保育所の職員のチームワークの良さに、企業から参加していた人も参考にしたいと絶賛していました。家族愛をもとに、職場、地域での人とのつながりを大切にしていきたいものです。

また、一人ひとりを大切にする保育を小学校でも継続して行われるよう連携を持つことの大切さも確認しました。社会の変化に伴い、保育指針も改定されます。私たちは将来を担う子ども達にいろいろな体験ができるよう環境づくりをし、人と関わる力、表現する力を養い、命を大切にする事を伝えたいと思います。



